

5.11 気象(風害を含む)

5.11.1 現況調査

(1) 調査内容

事業計画地周辺の風環境の現況を把握するため、地域の一般的な状況及び大阪の風について既存資料により調査を実施した。調査内容は表 5.11.1 に示すとおりである。

表 5.11.1 調査内容

調査対象項目	調査範囲・地点	調査時期	調査方法
事業計画地周辺の風環境	事業計画地周辺	平成 11 年 3 月 ～平成 19 年 2 月	既存資料調査 大阪管区気象台

(2) 調査結果

A) 地域の一般的状況

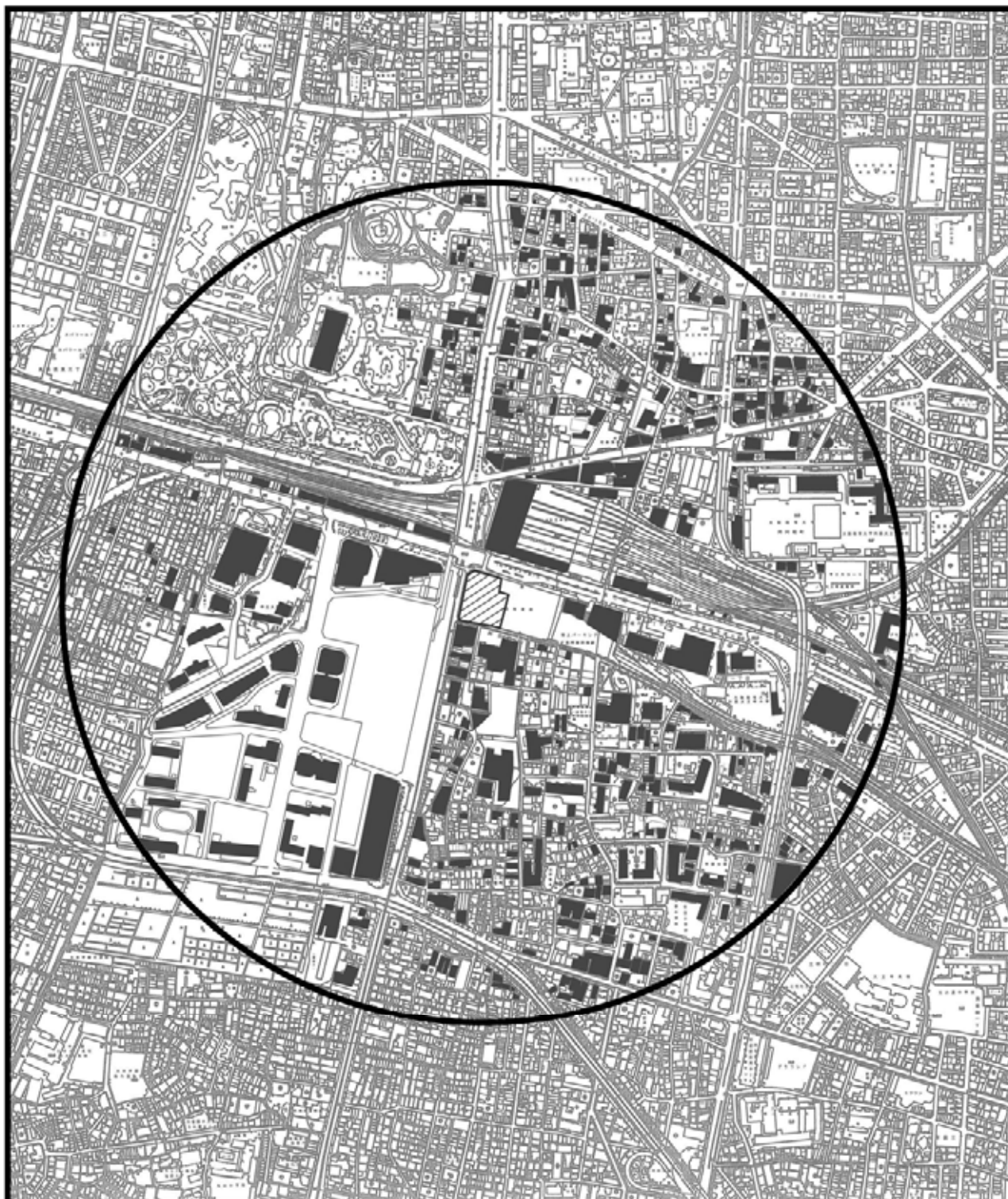
事業計画地周辺の中高層建築物(ここでは 4 階以上とした)の分布状況は、図 5.11.1 に示すとおりである。事業計画地周辺には、商業施設、宿泊施設及び業務施設など、中高層建築物が多数分布している。

なお、事業計画地周辺の標高は海拔 20m 程度であり、ほぼ平坦な地形をなしている。

B) 上空風の風速・風向の状況

事業計画地周辺の上空の風向・風速の状況を把握するために、事業計画地の北約 4.5km に位置する大阪管区気象台の気象調査地点(観測高さ：地上 33.0m)で観測された、過去 8 年間の風向・風速データの整理・分析を行なった。

大阪管区気象台の気象調査地点の位置は、図 5.11.2 に示すとおりであり、平成 11 年 3 月から平成 19 年 2 月までの 8 年間に得られた日最大平均風速・風向の風配図は、図 5.11.3 に示すとおりである。年間を通じ、北東、南西～西の風向の発生頻度が高く、強風の発生頻度については、南西～西の風向に偏っており、特に西の風が卓越している。



凡 例

- ▨ : 事業計画地
- : 4階建以上の建物
- : 風洞模型作成範囲（事業計画地の高層棟を中心とする半径700mの円内）

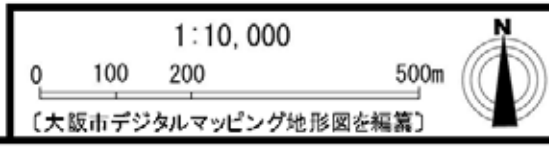


図 5.11.1 事業計画地周辺における中高層建築物分布状況